

8 安全で安心な県づくりについて

(1) 安全・安心の現状

問30 次にあげた(ア)～(コ)の項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。

それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに をつけてください。

全体
(n=789)

- はい
 どちらとも言えない・該当しない
 いいえ
 どちらかと言えば「はい」
 どちらかと言えば「いいえ」
 無回答



あなたは、あなたや家族の病気についての知識をお持ちですか。 に「はい」(32.3%)と回答した人が最も多く、3割強となっている。

次に、あなたは、自分の周囲は児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する暴力がなく、安心して暮らせる環境だと思いますか。 に「はい」が3割弱(27.2%)となっている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、あなたは、あなたや家族の病気についての知識をお持ちですか。 が最も多く、7割(75.5%)を超えている。順にあなたは、自分の周囲は児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する暴力がなく、安心して暮らせる環境だと思いますか。 が6割台(68.9%)、あなたは、犯罪にあうことへの不安を感じることなく安心して暮らしていますか。(44.2%)とあなたは、毎日の食生活において、食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。(42.1%)が4割台、あなたは、交通事故にあうことや起こすことへの不安を感じることなく安心して暮らしていますか。(34.6%)、あなたの住む地域は、水や大気など環境汚染に関して安全な生活環境だと思いますか。(33.3%)、あなたの住む地域は、水害、地震、火災などの災害に対して備えが充実した安心できる地域ですか。(32.4%)が3割台となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、あなたは、県の安全で安心な県づくりの推進に関する条例とその基本計画について知っていますか。(66.4%)、あなたは、犯罪や交通事故の犠牲者やその家族が被害から立ち直り、平穏な生活を送るための支援活動((社)ふくしま被害者支援センター)があることを知っていますか。(65.5%)、あなたは、献血や臓器提供などに参加していますか。(64.1%)が6割を超え、高くなっている。